平成１９年度中間評価結果（平成19年12月）

［研究開発課題名］　日常行動・状況理解に基づく知識共有システムの研究開発
［委 託 機 関 名］　株式会社国際電気通信基礎技術研究所

項目	評価ランク	所見	再評価ランク	再所見
総合所見	A	（技術） 医療看護現場における事故の低減という社会的関心の高い問題の解決を目指した研究となっており、期待される効果は非常に大きい。また、行動・状況理解技術、知識構築技術、知識提供技術という３側面から総合的にアプローチしている点、それぞれの課題において先進性の高い研究成果を挙げている点などは高く評価できる。 一方、前回の中間評価でも述べたが、データの分析法、コーパス作成法に依然懸念が残る。また、システム全体として求められる機能のうち、自動化が必要な部分とツールとしての使い勝手の工夫で対応すべき部分との切り分けに関する検討が不足している。特に、知識提供技術におけるビデオ作成支援に関する部分は課題設定の妥当性や技術の有効性に大きな疑問が残るため、残された研究期間では看護業務記録・分析システムに注力すべきと考える。	ー	（技術）
		（事業化） 本研究開発成果を、看護業務の負担軽減とそれによる医療事故の削減に効果のある看護業務支援システムとして事業化する計画である。看護業務支援システムについては、●●●